

委員会のうごき

総務常任委員会

9月10日から3日間、付託された決算議案6件と陳情2件の審査及び所管の事務調査を行った。

(税務課)

滞納の状況

20年度当初の滞納繰越額(介護保険料を含む)は、2億5657万円。

一定の高額滞納者には預貯金等の差し押えが行われ、差し押えによる収納額410万円(前年度比23%増)を含む4953万円が徴収された。収納

率は、19.3%。また、生活保護を受ける状態になった人や、相続人のいない死亡者、廃業した法人等の滞納金1097万円が不納欠損として処分された。

滞納対策室では、県税事務所とも連携しながら、家宅搜索や差し押え不動産のインターネット公売など、積極的な取り組みが



インターネット公売下見会

行われ、成果も上がっている。

しかし、近年の景気低迷から、滞納金の総額は増える傾向にあり、滞納者に対するきめ細かな調査による、差し押えや、執行停止(納税の猶予)といった措置が一層必要になっている。

(企画情報課)

空家空地バンク

「大山町に移り住みたい」、「生まれ育った大山町に帰りたい」。

町外、県外からのそうした要望に対応するために始められた空家空地バンク制度。昨年度は、63件の問い合わせがあったが、あったものの、実際に成約に至ったケースは1件もなかった。

最大の原因は、データバンクに登録されている物件の少なさ。現在、空家は8件、空地12件しかなく、空家のほとんどは売買物件で、大規模な修繕が必要な物件も多いため、移住しようと考えている人にとっては、選択



大山町ホームページ空き家情報の1つ

の幅がきわめて限られている。

都市部では、団塊の世代を中心に、老後は環境の良い地方で生活したいというニーズがあり、また、本町では人口が減少するなか先家が増えている。

10月からは、国の雇用対策交付金を利用し、3人の調査員が3か月雇用され、空家空地の掘り起こしが進められている。

(総務課)

投票所

4月に行われた町長・

町議会議員選挙から従来49あった投票所が19になった。

1回の選挙当たり約500万円の経費削減となり、先の衆議院議員選挙では、約700万円の経費が削減できた。

(人権推進課)

活動と研修

同和地区の自立支援のための活動助成、人権に関する各種研修・大会の参加、人権推進の事業に1億1819万円が支出された。